



9月議会へ 総括質問 (坂本昌栄議員)

河川の豪雨災害への抜本的対策の考えは

市長「ソフト対応の重要性を認識。詳細な調査を実施する予定」

鶴岡市議会9月定例会が3日開会され、日本共産党市議団を代表して、坂本昌栄議員が①豪雨災害への抜本的対策、②経済情勢の今後の見通し、③農産物の状況、④人口減少対策と行財政改革、⑤病院事業について、総括質問を行いました。

層認識した。

今回の河川氾濫に関する被害状況や、原因を把握するため、詳細な調査を実施する予定だ。

河川改修計画の見直し検討も含め、地域の声を聞きながら、県と協議する。

コロナ無利子融資返済困難対策は

問 新型コロナ関連で

令和2年1月から無利子融資制度を開始し、返済が始まっている。これまでの融資件数と

返済状況はどうか。

市長 372件52億6780万円の利用実績があり、全て返済が開始されている。

問 返済が困難となっている事業者への対応はどうか。

市長 「がんばる中小企業応援補助金」や、消費喚起クーポンで支援をしてきた。

問 今後の物価高騰対策は。

市長 「がんばる中小企業応援補助金」や、消費喚起クーポンで支援をしてきた。

豪雨でだだちゃ豆種子確保困難

問 7月25日の豪雨災害等により、農作物の生育状況に関する情報交換会では「だだちゃ豆」の種子確保が困難との事だが。

市長 優良種子の生産・確保は、栽培、採種、冷凍、解凍の各段階で、効果的な技術の確立が必要だ。

市長 6月末時点の民間在庫は156万トで過去最低水準だが、徐々に新米の流通が本格化することにより回復する。

市長 優良種子の生産・確保は、栽培、採種、冷凍、解凍の各段階で、効果的な技術の確立が必要だ。

問 8月26日、櫛引地域では突風が発生し、ラ・フランスなど果樹農家では3〜5割の被害があったが、その現状と対応はどうか。

社会保障要望、商工観光分野の視察

▽9月2日(月)、県社会保障推進協議会の県要望に同席。以担当課と参加各団体が意見を交換しました。



度には終了予定の護岸工事もあるが、7月25日の豪雨災害を受け、河川豪雨対策の考えはどうか。

市長 ハード対策の防災対応の一方で、警戒避難体制の強度等、ソフト対応の重要性を一

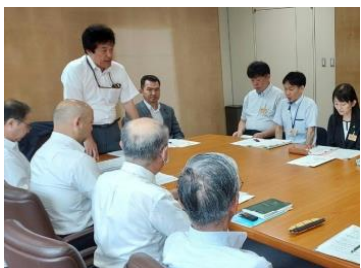
ら5日(木)まで、商工労働観光常任委員会の県内視察で最上・庄内を回りました。

○食用コオロギ養殖―世界の食糧危機に着眼した事業。○道の駅もがみ。○新庄まつり山車行事保存会。○ピノ・コッリーナファーム。○プレステーションターニョナルとアランマール山形―県内プロスポーツの実情。○鶴岡山王商店街振興組合―大型店が野放しにされる中で、地元商工業者の町づくりの努力。○鶴岡商工会議所青年部―青年事業者の連帯の活動。

人口減少・新型コロナ・物価高騰等々が襲う中、社会の課題に込める奮闘・努力がおこなわれている事を実感しました。

(県議 関 徹)

▽3日(火)か



実態に基づく貴重な提言がおこなわれ、私は県施策に反映させることを求めました(写真)

問 米不足が生じているが、今後の見込みはどうか。

(2面につづく)

(1面のつづき)
市長 収穫期が終わるまで被害把握が困難だが、効果的な支援に取り組む。
共済制度や収入保険等、農業セーフティネットへの加入を推進している。

職員の疲弊、定員適正化見直しを

問 市税の減少が進み、自主財源確保の観点から、人口減少への対策が必要だが、若者・子育て世代への人口減少対策はどうか。
市長 第2次総合計画後期計画「5つの加速化アクション」で、「若者・子育て世代」に選ばれるまちづくり」を各

問 地域内で農作物の自給率を上げるべきだが、見解は。
市長 市も同様に考えている。今後も食文化創都市の強みを活かしつつ、生産者と消費者を結び、地域農産物の自給率向上を図る。

他の医療機関との連携強化は

問 病院事業会計は、収支差引で2億8千万の純損失だ。
市長 庄内病院は入院・外来患者も減少しているが、病床稼働率の現状と、医師・看護師確保の進捗状況はどうか。
市長 稼働率は70%である。医師は75人で、年内には更に複数科で医師の赴任も予定しているが、看護師の確保が課題だ。
問 赤字解消に向けた

るが、行政課題や行政ニーズは、益々複雑多様化し、臨時的な業務が増加している。危機管理を含む市民

問 病院事業会計は、方向性はどうか。
市長 病院事業管理者「庄内病院経営強化プラン」に基づき、今後積極的な病院経営に取り組み。
問 救急医療対応の強化や加算措置の取得による医療収益の向上を図り、働きかた改革と時間外勤務の削減等、経費の節減に努め、経常収支の黒字化を目指す。
問 「地域の医療機関等との連携強化、高度

発火性危険ごみ来年1月から分別方法変更

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会

令和6年度第1回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会(小谷卓会長)が8月26日に行われ

量は9469トと475ト減少しました。令和7年度の目標を家庭系ごみ1人1日あたりの排出量550g、資源回収量3200ト、事業系ごみの排出量1万0200ト、リサイクル率13・2%

と設定しています。スプレー缶等の混入に伴う、収集運搬車両火災や、中間処理施設(リサイクルプラザ)での火災等を受け、新たに令和7年1月から分別方法を変更します。
発火性危険ごみ(スプレー缶・カセットガスボンベ・ライター)は、中身の確認が

・良質な医療サービスを提供に努める」とあるが、取り組みは。病院事業管理者「経営強化プラン」を基本に、地域連携パスの作成、地域医療機関や地区医師会との連携の強化、国立がん研究セン

7月25日の豪雨冠水被害による災害廃棄物仮置き場を3日間設置し、可燃ごみ17・5ト、豊約90枚、金属・その他約3・1ト、粗材ごみ6・2ト、廃棄家電約1・1ト、リサイクル家電、冷蔵庫31台、テレビ23台、洗濯機16台が搬入されました。
令和5年度の家系ごみの排出量は、1人1日あたり567gで、前年度より37g減少しました。
資源回収量は2396トと2092ト減少し、事業系ごみの排出

建築課入札結果 () 内は予定価格
9月5日入札分
・藤沢周平記念館空調熱源機改修工事(馬場町4番6号)(入札8業者)
山形空調株式会社 9,460,000円(9,660,000円)
工期~7/1/10(落札率97.93%)

都市計画課入札結果 () 内は予定価格
9月5日入札分
・赤川河川緑地園路等整備工事
中止

下水道課入札結果 () 内は予定価格
9月4日入札分
・市公共下水道事業 汚水1D046-1号新設工事(宝田三丁目地内)(入札3業者うち1業者辞退)
田川砂利工業(株) 3,700,000円(3,780,000円)
工期~11/8(落札率97.88%)
9月3日入札分
・市公共下水道事業 汚水K101~K109号ほか路面復旧工事(下小中ほか地内)(入札2業者)
(株)佐藤渡辺鶴岡営業所 23,400,000円(24,560,000円) 工期~11/29(落札率95.28%)
・市集落排水事業 三瀬地区管路施設 138~139-5号新設工事(三瀬地内)(入札5業者)
十和建设(株) 39,600,000円(40,180,000円)
工期~7/3/24(落札率98.56%)

水道課入札結果 () 内は予定価格
9月5日入札分
・中山ポンプ場、配水池次亜注入設備設置工事(中山地内他)(入札8業者)
(株)渡会電気土木 41,500,000円(43,140,000円)
工期~7/3/31(落札率96.20%)
9月4日入札分
・関川配水池及び水源地耐震診断業務委託(関川地内)(入札4業者)
(株)日本水道設計社 山形営業所 7,500,000円(7,920,000円) 期間~7/2/20(落札率94.70%)

問 「鶴岡市地域医療市民アクションプラン」を策定し、地域医療の理解を図った。
現在庄内病院と健康福祉部が連携して、医療、介護の連携の輪の拡大に努めている。
地域包括ケアシステムを一層進化させ、地域医療に向き合い充実させる。